

青山小学校区  
コミュニティ  
協議会

新潟市西区青山6-16-20  
☎025 (233) 2990

〈広報〉  
第15号  
平成27年  
6月20日

# 青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

## 初夏 色鮮やか 花文字

西区一セキヤ分水



風にそよぐ関屋分水路の桜並木の青葉がまぶしい5月30日(土)、青山小学校区コミュニティ協議会主催「一斉清掃・花文字花壇作り」が行われました。

有明大橋下(左岸)に地域住民約230名の参加者が集まりました。主催者、井上清敬国土交通省信濃川下流河川事務所長、眞島幸平西区長らのあいさつの後、堤防の草刈りをし、きれいになった堤防斜面にペゴニア、サルビアなど色とりどりの花々を組み合わせて植栽。夕日と海をイメージした西区のシンボルマークと「西区」「セキヤ分水」の花文字を作りました。

花文字花壇が完成したら、お楽しみの豚汁が待っている青山海浜公園に、ゴミを拾いながら移動し、育成部の方々が真心込めて作られた豚汁を頂きました。美味しい豚汁と穏やかな日本海を眺めながら、草刈りと花壇作りの疲れを癒してくれました。地域連携の深まる和やかなひと時を過ごしました。



## 平成27年度 青山小学校区コミュニティ協議会総会



### 村川会長退任、後任に中藤榮子氏。

青山小学校区コミュニティ協議会の平成二十七年総会が六月十四日開かれ、浦山、有明両地区の構成員ら約四十人が出席、役員改選では村川順三会長が退任し、中藤榮子氏が後任会長に就任しました。

新年度の主な事業計画については信濃川クリーン作戦、浦山・有明両地区のふれあいの集い、福祉関係講演・講習会、青山コミハウス文化祭など浦山・有明自治協、同自主防災会などと共催して実施することを決めました。

### 青山小学校区コミュニティ協議会役員

役職	氏名	所属
会長	中藤 榮子	
副会長	村井 良次	有明地区自治協議会
副会長	相馬 哲	浦山地区自治協議会
総務部会長	稲毛 秀実	有明地区自治協議会
環境安全部会長	田嶋 豊信	浦山地区自治協議会
文化スポーツ部会長	矢口 弘	スポーツ振興会
福祉部会長	渡部 妙子	

発会九年、結集！コミュニティの力を！

平成27年度

# 村川会長退任、 新会長に中藤榮子氏。

青山コミュニティハウス管理運営委員会の平成二十七年総会が四月十七日開かれ、同ハウスの委員会構成員の自治会長、利用者会代表、商店会会長らが参集。村川順三会長の退任に伴う新会長はじめ、新役員を選出、新体制がスタートしました。新会長には青山区民生児童委員協議会長を歴任し、地域の福祉活動に尽力した中藤榮子氏が就任、「重責を考えると身の引き締まる思い、ただ引き受けた以上は全力で務めを果たしていきたい」とあいさつしました。副会長には相馬哲氏（関屋堀割町自治会長）が新任、藤井秀子氏（利用者会）が再任、会計理事には田嶋豊信氏（虹の根自治会長）が就任、総務・事業・広報三部門の構成部員も一部変わった。

総会では西区の真島幸平区長が新年度のビジョンの策定について説明し、高田章子地域課長が区と地域が一体となった協働の区行政を進めていきたいと協力態勢を呼びかけました。

退任した村川前会長は六区自治会長の後、浦山地区自治協議会長、青山小学校区コミ協会長、西区自治協議会役員などの要職を歴任、地域の安心・安全の町づくりに指導力を発揮し、多大な貢献をされました。

## 平成27年度 管理運営委員会役員

役職	氏名	所属
会長	中藤 榮子	利用者会
副会長	藤井 秀子	〃
〃	相馬 哲	関屋堀割町
会計理事	田嶋 豊信	虹の根
理事	杉山 義孝	浦山1区
〃	五十嵐 修	浦山6区
〃	征木 勲	浦山10区
〃	岡村 ナホ子	サンシャイン青山
〃	平賀 巳代治	リバーハイツ関分
〃	田中 米三	松美台第1
〃	山田 征夫	松美台第2
〃	保 莉 隆 義	浦山商店会
〃	丸山 喜 広	西有明町第2
監事	鈴木 隆	浦山3区
〃	早川 隆	浦山4区



## 平成27年度

# 利用者団体代表懇談会



利用者団体の代表が年1回、施設や利用をめぐる話し合う懇談会が5月10日開かれました。日曜日にも関わらず22団体の代表者が出席し、日ごろの活動状況の報告があった後、ハウス側に対する要望事項など意見交換を行いました。

ハウス管理運営委員会から中藤会長と藤井・相馬両副会長、田嶋会計理事が出席し、昨年度の事業・決算報告と27年度の事業計画と予算面についても報告がありました。

また、利用者の安全面から施設周囲の危険箇所の点検と補修工事の実施や、4月から新たに駐車スペース4台分の追加契約など、安全で快適な利用環境に取り組んでいる状況の説明もありました。楽しく安全な施設利用を目指して、会議後に非常警報を鳴らして、参加者全員の避難訓練を含めた消防訓練も実施しました。



# 平成27年度 自治協議会総会

## 有明地区

### 一人暮らしなど友愛事業の強化へ

有明地区自治協議会は、4月二十六日(日) 青山コミュニティハウスで平成二十七年の自治協議会を開催しました。

有明地区、七つの自治会から十八名(この日ネオハイツ有明自治会は役員未決の為欠席) 来賓として有明地区の渡部コミ協役員、民生児童委員、主任児童委員七名の計二十五名が出席しました。有明ふれあい夏祭りが

保育園改築の為中止ですが、新年度の事業は、有明地区ふれあいの集い(九月九日)、総合防災訓練(九月二十六日)、有明お茶の間「らっくり」(月一回第一水曜日)の開催。高齢者一人暮らし世帯への友愛訪問事業の継続などを決めました。

有明地区自治協は、青山3区稲毛自治会長、青山西打越自治会長、小針松美台佐々木自治会

長、松美台第1田中自治会長、松美台第2山田自治会長、西有明町第1村井自治会長、今年新しく西有明町第2丸山自治会長、ネオハイツ有明橋本自治会長で役員を構成しています。

## 浦山地区

### 新会長に相馬哲さん

平成二十七年の浦山地区自治協議会総会が四月十五日開かれ、十三自治会の正副会長ら二十二人が出席、健康上の理由で退任した古川久義前会長の後任に相馬哲氏を選出、全会一致で承認した。副会長には田嶋豊信氏(留任)と小林岩男氏(新任)が就任した。

新年度の主要事業については九月の「ふれあいの集い」の運営に関してアトラクションなど一部手直し、防犯協会の自治協

加入に伴う組織改革などに着手することを確認した。四つの自治会で会長の新旧交代があった。サンシャイン青山では昨年の浦山五区に次いで女性会長が誕生した。

新任会長は次の通り。

三区 鈴木隆▽十区 榎木勲▽中央区 佐藤純一▽サンシャイン青山 岡村ナホ子

退任するサンシャイン青山の佐竹和夫さん(八八)は山形県出身、「自治会活動にかかわって十五年、皆さんに好意的におつ



浦山地区自治協議会総会

き合いたいいただき、大変な任務ながらも楽しい会長稼業でした。豊かな自然、隣人の人情に恵まれ、新潟に骨を埋めるつもりになっっています」とあいさつされました。

## 青山コミハウスの新しい管理人

こんにちは、  
廣瀬ゆみ子です。



4月からお手伝いをさせて頂いております。

まだ不慣れなことばかりで皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけしています。

皆様から「新人さんね」と声をおかけ頂きとてもうれしいです。

ご利用者の皆様のパワーを頂き、早く皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

## 青山コミハウス 夏・秋のごよみ



- ▽六月二十七日(土) 防火懇談会
- ▽七月二十六日(日) 信濃川クリーン作戦
- ▽八月一日(土) きつね山無縁塔供養祭
- ▽八月二日(日) 西区一斉クリーンデー
- ▽九月九日(水) 有明地区ふれあいの集い
- ▽九月十四日(月) 浦山地区ふれあいの集い
- ▽九月二十六日(土) 浦山地区防災訓練
- 有明地区防災訓練

# 有明地区

# 浦山地区

平成二十七年 度

## 自主防災会総会

浦山地区自主防災会は五月九日、二十七年定期総会を開き、第九回防災訓練を九月二十六日に決めたほか、古川久義前会長の辞任に伴う新会長を選出、副会長の再任など新役員体制を承認した。総会には約四十人が出席、防災訓練の訓練メニューや運営方法などについて意見交換し、役員任期の一部規約改正もした。また、出席者からは形式だけの

四月二十六日、有明地区自主防災会総会を自治協総会に引き続いて青山コミュニティハウスで開催しました。昨年度の事業報告と新年度の計画を審議しました。

昨年九月二十七日（土）に実施した防災訓練は、青山小学校との合同訓練で開催し参加者が四八七名でした。地震避難訓練（自治会指定一次避難所避難）、指定避難所集団避難訓練、室内煙体験、初期消火訓練、学童防災学習発表、学童防災標語披露、



## 自主防災会の存立を考える

訓練にならないよう自主防災会の存立、有事、平時併せてのあり方に踏み込んだ指摘もあった。新役員は次の通り。

▽会長 相馬哲（関屋堀割町自治会長）  
▽副会長 田嶋豊信（虹の根自治会長）  
▽同 野村順一（関屋堀割町）

## 児童、高齢者が一体となって



AED訓練、車イス使用訓練、炊出し訓練等を実施しました。

新年度は、防災訓練を浦山地区や青山小学校と同じ日の九月二十六日（土）に実施することを決めました。今後青山小育成協議会、青山民生児童委員協議会と話し合いをして、児童や高齢者と共によりよい訓練内容になるよう検討していくことを確認しました。

## 児童の「安心・安全」をめざして

### 校舎周りの環境整備活動

五月十六日、青山小学校グラウンドにて「校舎周りの環境整備活動」を行いました。PTAと育成協が共催し、翌週に控えた運動会で、子どもたちが「安心・安全」に競技に専念できる環境を自分たちで整えることを目的に、保護者や子ども達をはじめ、教職員、地域住民など約百三十名の方々からご参加いただきました。



グラウンドでは、「石拾い」「雑草刈り」を中心に作業を行い、グラウンドに埋まった石やゴミなどを拾い、また保護者や地域住民の方々が気持ちよく応援することができるよう、応援スペースの確保やプール脇にある屋外トイレの清掃を行いました。

「希望の山」まわりでは、子ども達のひざ上まで育っていた雑草を草刈り機やカマを使って刈ったり、近隣家屋まで伸びていた松の枝の剪定を行い、約三十八袋分もの雑草や枝を刈りました。

ボランティア当日は、前日か

らの大雨により開催が危ぶまれましたが、子ども達や保護者、地域の方々から多大なるご協力をいただき、校舎周りの環境を整えることができました。ありがとうございました。

今後子ども達が「安心・安全」に学校生活を過ごすことができ、さらに「笑顔」あふれる地域づくりに貢献していきます。

小舟戸 伸也

（青山小コミュニティ協議会 文化スポーツ部会副部会長）